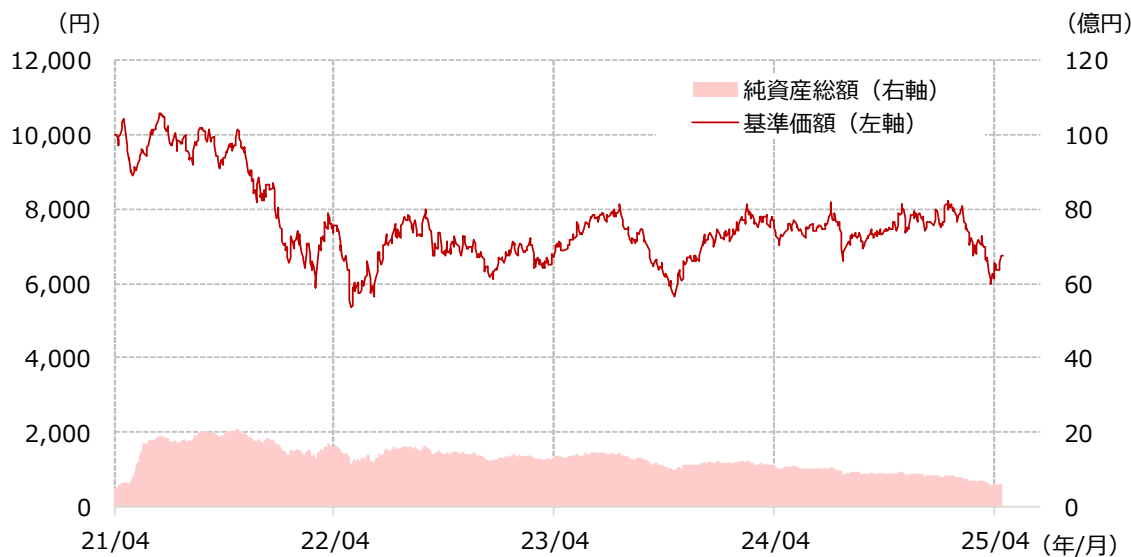


デジタルヘルス株式ファンド

設定来の市場概況とファンドの運用状況について

■ ファンドの運用実績



基準価額	6,755円
純資産総額	6.5億円

	騰落率
過去1年	-7.2%
過去3年	1.1%
設定来	-32.5%

(2025年4月末現在)

期間：2021年4月16日（設定日）～2025年4月30日（日次）
 ※基準価額は信託報酬控除後です。ファンドの分配実績はありません。

ファンドの特色

1 主として世界各国（日本を含む）のデジタルヘルス企業の株式等に実質的に投資します。

- 主として円建の外国投資証券であるUBS（ルクセンブルク）デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス（以下「外国投資証券」あるいは「投資信託証券」ということがあります。）への投資を通じて、世界のデジタルヘルス企業の株式等に投資します。
- 外国投資証券の運用は、UBSアセット・マネジメント（スイス）エイ・ジーが行います。
- 外国投資証券における組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

2 株式等への投資にあたっては、ピュア・プレイヤーを厳選します。

- ピュア・プレイヤーとは、デジタルヘルス企業の中でも、デジタルヘルス分野からの収益の割合が50%以上を占める企業をいいます。
- ピュア・プレイヤーに厳選投資することで、デジタルヘルス分野以外の事業を多く行う企業の株式などが組み入れられることを防ぎ、デジタルヘルス分野の成長からの恩恵を享受できる銘柄選択を目指します。

【デジタルヘルス企業とは？】

従来のヘルスケアのシステムを根本から変えるポテンシャルを持った、革新的なテクノロジーを持つ企業をいいます。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

デジタルヘルス株式ファンドの信託期間は2026年4月13日までとなっております。信託期間の延長は行わず、2026年4月13日に満期償還となります。
 2～6ページにて市場概況および運用状況をご説明いたします。ご確認くださいませようお願い申し上げます。

デジタルヘルス株式ファンド

市場概況（2021年4月～2025年3月）

※ファンド設定日の年度初め～直近年度末までとしています。

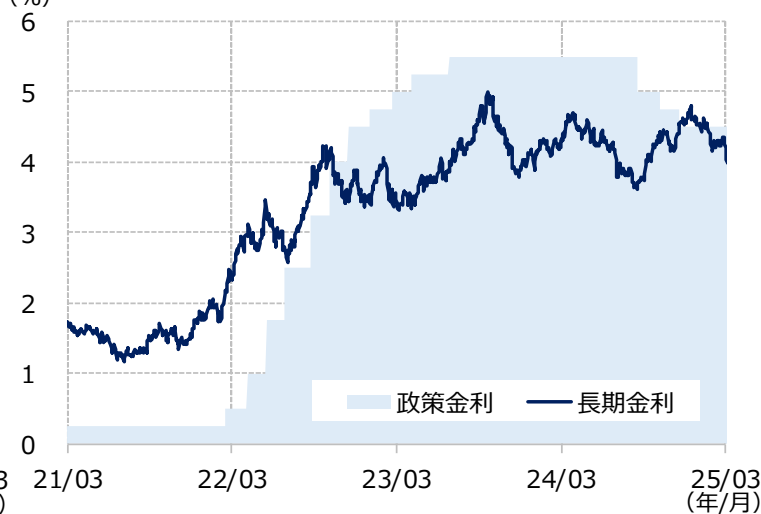
- 当期間の世界株式（MSCIワールド・インデックス、米ドルベース、トータルリターン、以下「世界株式」といいます。）は約37%上昇しました。
- 米国のインフレが急速に進行したこと、米政策金利の高止まり懸念などから、軟調に推移する場面も見られましたが、インフレの落ち着きから金融緩和が視野に入り始めた2022年度終盤以降は、AIブームも追い風に概ね上昇基調で推移しました。

年度	世界株式騰落率	米長期金利変化幅	世界株式のマーケット環境
2021年度	+10.1%	+0.6%	米インフレ率の上昇、コロナウイルス感染の再拡大、中国経済の急減速と同国不動産大手の資金繰り難などへの警戒感が株価を押し下げる局面はあったものの、総じて好調な企業業績と積極的な自社株買いが相場を押し上げました。ただし、米利上げの加速を織り込んで世界的に金利が上昇したこと、ロシア・ウクライナ戦争と対露制裁に伴う資源高の進行などから、年度末にかけては下落しました。
2022年度	-7.0%	+1.1%	米国のインフレ加速と先行きの高止まり懸念から、FRBが引き締め姿勢を強めるとの見方が台頭し、年度前半は大きく下落しました。しかしインフレがピークアウトしたことで米利上げペースの減速期待が高まったこと、底堅い企業業績、中国景気の底打ち期待から、年度後半以降は大きく切り返しました。2023年3月には欧米で金融不安が発生したものの、当局の素早い対応から相場への影響は短期間に留まりました。
2023年度	+25.1%	+0.7%	米国経済の予想外の好調さから長期金利が急上昇したのを嫌気して、夏場から秋口にかけて値を崩す場面もありました。しかし、年度を通してみると、インフレ圧力の緩和で2024年度以降の米利下げが徐々に意識される中、長期金利が低下したことに加えて、生成AIの急速な普及期待と関連需要の強い伸びを反映した情報技術などの好調さから、株式市場は大きく上昇しました。
2024年度	+7.0%	+0.0%	日銀の想定外のタカ派姿勢が円キャリートレードの巻き戻しとグロース株の利益確定売りを誘発し、急落する局面もありました。しかし、米経済のソフトランディング期待や、FRBの大幅利下げ（＝FRBの政策の軸足は、インフレから雇用に移ったと認識された）を好感し、年度前半は大きく上昇しました。ただし、米大統領選への警戒感や、関税導入による景気への影響をいとわない米トランプ政権の強い姿勢への懸念から、年度後半は失速しました。

世界株式（米ドルベース）の推移



米国の政策金利と長期金利の推移



期間：2021年3月31日～2025年3月31日（日次）

世界株式はMSCIワールド・インデックス、米ドルベース、トータルリターン。ファンドの参考指数およびベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。

米国の長期金利は米10年国債利回り

出所：UBSからの情報およびMSCI、FactSet、Bloombergのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

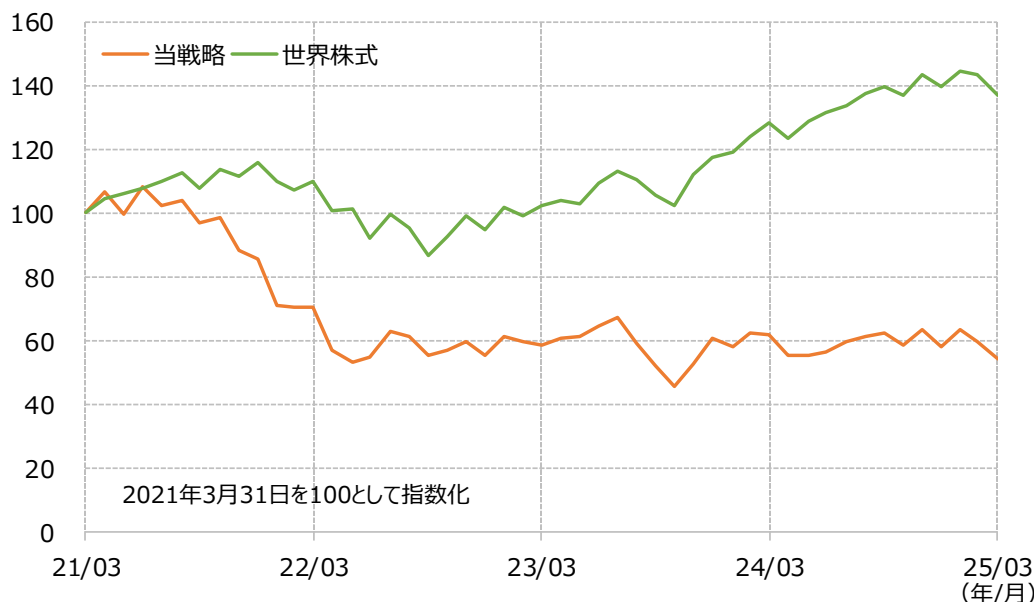
デジタルヘルス株式ファンド

ファンドの運用の振り返り（2021年4月～2025年3月）

※ファンド設定日の年度初め～直近年度末までとしています。

- ファンドが投資する戦略（米ドルベース、信託報酬等費用控除前、以下「当戦略」といいます。）の当期間のパフォーマンスは45.86%下落しました。同期間の世界株式は37.11%上昇しました。
- 当戦略の収益率（米ドルベース）がプラスとなったのは2023年度（2023年4月～2024年3月）のみとなり、非常に厳しい結果となりました。
- コロナ禍から世界経済が正常化に向かう過程では、景気敏感銘柄を中心とするバリュー株が優位の相場展開となったこと、米国のインフレ高進による金融引き締めは、大企業と比べて財務基盤が総じて脆弱な米中小企業には重荷となったこと、また2022年後半頃からの生成AIブームがアップルなどIT大手7社の総称「マグニフィセント・セブン（M7）」に代表される超大型グロース株相場を引き起こしたことが、当戦略の低調なパフォーマンスの要因の1つとして考えられます。
- 買収対象になるなど、個別銘柄の中には当戦略の収益に大きく貢献する銘柄はありました。しかし将来性を評価する、中小型のヘルスケア銘柄がポートフォリオの中心となる当戦略は、この間の市場のトレンドと必ずしもかみ合わず、上昇相場に追随することができませんでした。

当戦略と世界株式の推移



騰落率

年度	当戦略	世界株式
2021年度	-29.5%	+10.1%
2022年度	-16.9%	-7.0%
2023年度	5.9%	+25.1%
2024年度	-12.8%	+7.0%

期間：2021年3月31日～2025年3月31日（月次）

世界株式はMSCIワールド・インデックス、米ドルベース、トータルリターン。ファンドの参考指数およびベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。

出所：UBSからの情報およびMSCI、FactSetのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

当戦略のサブテーマ別寄与度

サブテーマ	平均保有比率	トータル・リターン	トータル・リターン寄与度
治療	46.13%	-18.95%	-7.08%
効率化	30.67%	-57.57%	-21.12%
研究開発（R&D）	23.08%	-69.80%	-17.73%

期間：2021年3月31日～2025年3月31日（日次）

出所：UBSからの情報およびデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

上記の当戦略のパフォーマンスは、ファンドが投資する円建の外国投資証券の米ドル建てマスターファンドのグロス・リターン（信託報酬等費用控除前）です。ファンドが投資する円建の外国投資証券の運用実績ではないことにご留意ください。

ファンドの運用の振り返り（2021年4月～2025年3月）

※ファンド設定日の年度初め～直近年度末までとしています。

寄与度上位銘柄

寄与度上位銘柄	平均保有比率	トータル・リターン	トータル・リターン寄与度	サブテーマ	企業概要
ショックウェーブ・メディカル	2.23%	151.42%	3.09%	治療	米国の医療機器メーカー。末梢血管、冠動脈、心臓弁疾患患者の石灰化プラークを治療する血管内結石破碎技術に注力する。2024年4月に米医薬品・医療機器のジョンソン&ジョンソンが同社買収を発表、6月3日に完了。
クスタル・バイオテック	2.17%	134.03%	2.57%	治療	米国のバイオ医薬品企業。遺伝子治療技術により、萎縮性表皮水疱症の治療薬を商業化したほか、呼吸器・腫瘍・皮膚科・眼科・美容の各分野で遺伝子医薬品の研究開発を進める。
トランスメディックス・グループ	2.60%	62.16%	2.45%	治療	米国の医療技術企業。臓器移植を必要とする患者のために、ドナーから提供された肝臓、心臓、肺などの各種臓器を手術直前まで機能させ続けるデバイス（OCS：臓器ケアシステム）を手掛ける。
ナテラ	2.66%	39.27%	2.24%	研究開発	米国の遺伝子診断会社。血液中のDNAを調べる無細胞DNA検査を通じ、家族計画や出生前検査、遺伝性がんスクリーニングなど、女性の健康ニーズをサポートする遺伝子検査を提供するほか、がん治療を受けた患者の再発監視を目的とする循環腫瘍DNA検査、腎臓移植を受けた患者の活動性拒絶反応を評価するための腎臓検査などを提供する。
シエラン・ファーマ	2.10%	55.36%	1.86%	治療	デンマークに本拠を置くバイオテクノロジー企業。主に、糖尿病や肥満などの代謝性疾患や消化器疾患、その他の特殊な疾患の治療に用いるペプチドをベースとする医薬品の設計、開発を手掛ける。

寄与度下位銘柄

寄与度下位銘柄	平均保有比率	トータル・リターン	トータル・リターン寄与度	サブテーマ	企業概要
デン・エックス・ゲノミクス	3.08%	-95.18%	-5.88%	研究開発	米カリフォルニア州に拠点を置くライフサイエンス・テクノロジー企業。免疫や腫瘍、神経などのゲノム分析用機器の開発を手掛ける。シングルセル解析に強みを持つ。
テラドック・ヘルス	1.69%	-95.22%	-4.87%	効率化	米NYに拠点を置く、世界最大規模のオンライン診療サービスプロバイダー。契約ユーザーは各種オンライン機器を通じ、同社が運営するリアルタイム遠隔医療システムに24時間・365日アクセス可能で、医療専門家（医師や医療エキスパート）から診療・診断やアドバイスを受けることができる。
エムスリー	2.14%	-86.22%	-3.81%	効率化	医療従事者専用の情報サイトである「m3.com」を中心とするプラットフォームを運営する日本企業。設立は2000年9月。筆頭株主は約34%の株式を保有するソニーグループ。
ガーダント・ヘルス	2.70%	-72.09%	-2.78%	研究開発	米国のバイオテクノロジー企業。がん患者の身体的負担の少ない低侵襲性液体検体（血漿や尿など）の分析による、がん検査（遺伝子異常の検出）サービスを提供する。
オムニセル	1.49%	-78.39%	-2.48%	効率化	米テキサス州を拠点とし、病院・薬局の投薬や調剤ミスを防ぎ、患者の安全を守る自動化・分析、効率的な薬品の供給や在庫管理のためのソフトウェア・ソリューションなどの開発を手掛ける。

期間：2021年3月31日～2025年3月31日（日次）

出所：UBSからの情報およびデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載の企業は参考のために例示したものであり、当ファンドへの組入れを示唆・保証するものではありません。また個別銘柄を推奨するものではありません。

将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

上記の当戦略のパフォーマンスは、ファンドが投資する円建の外国投資証券の米ドル建てマスターファンドのグロス・リターン（信託報酬等費用控除前）です。ファンドが投資する円建の外国投資証券の運用実績ではないことにご留意ください。

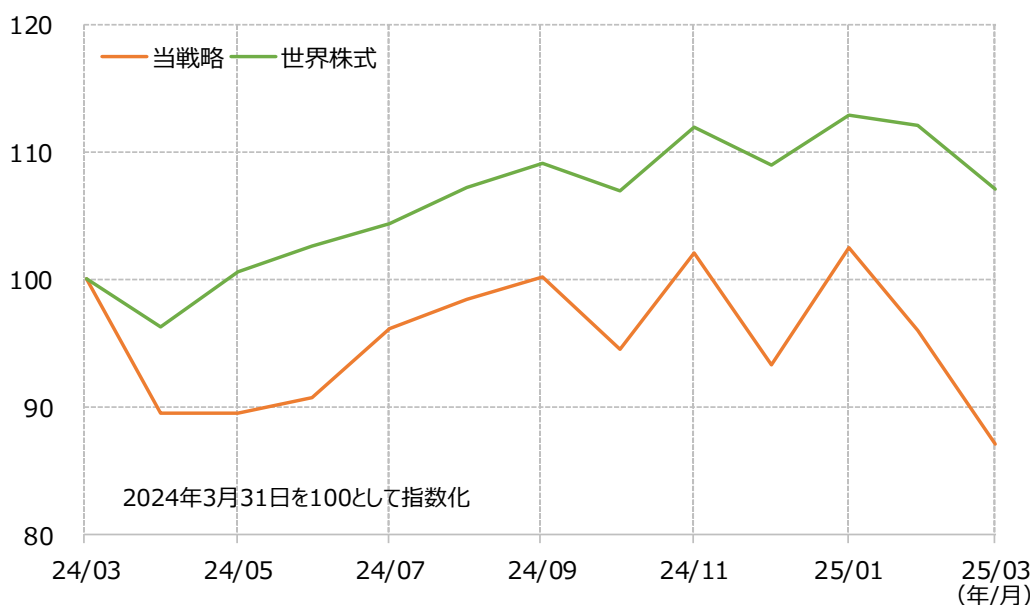
デジタルヘルス株式ファンド

ファンドの運用の振り返り（2024年4月～2025年3月）

※直近1年間の年度としています。

- ファンドが投資する戦略（米ドルベース、信託報酬等費用控除前、以下「当戦略」といいます。）の当期間のパフォーマンスは12.82%下落しました。同期間の世界株式は7.04%上昇しました。
- 2024年度の世界の株式市場は、前年度に続いて生成AIが市場の大きなテーマとなる中、M7に代表される超大型グロース株が夏場の下落局面を除いて年末まで市場をけん引しました。当戦略の中核を占める中小型株は、この間、大きく出遅れました。
- 2025年に入っても、米国景気の落ち込みをいとわない米トランプ政権の関税への強気の姿勢が、相対的に国内依存度の高い中小型株の重荷となったこともあり、年度を通じて主要な株価指数に大きく見劣りする結果となりました。

当戦略と世界株式の推移



期間：2024年3月31日～2025年3月31日（月次）

世界株式はMSCIワールド・インデックス、米ドルベース、トータルリターン。ファンドの参考指数およびベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。

出所：UBSからの情報およびMSCI、FactSetのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

当戦略のサブテーマ別寄与度

サブテーマ	平均保有比率	トータル・リターン	トータル・リターン寄与度
治療	46.44%	-14.13%	-6.37%
効率化	28.51%	-7.29%	-1.92%
研究開発（R&D）	25.04%	-19.13%	-4.51%

期間：2024年3月31日～2025年3月31日（日次）

出所：UBSからの情報およびデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

上記の当戦略のパフォーマンスは、ファンドが投資する円建の外国投資証券の米ドル建てマスターファンドのグロス・リターン（信託報酬等費用控除前）です。ファンドが投資する円建の外国投資証券の運用実績ではないことにご留意ください。

ファンドの運用の振り返り（2024年4月～2025年3月）

※直近1年間の年度としています。

寄与度上位銘柄

寄与度上位銘柄	平均保有比率	トータル・リターン	トータル・リターン寄与度	サブテーマ	企業概要
ザイ・ラボ	4.11%	122.22%	3.57%	治療	上海に本拠を置くバイオ医薬品企業。医療ニーズに基づき、がん、抗感染症、自己免疫疾患の分野を含む治療法の発見、ライセンス供与、開発、商業化に取り組む。
ドクシミティ	2.96%	115.64%	2.39%	効率化	医師・医療従事者向けSNSプラットフォーム「Doximity」を運営する米国企業。
イナリ・メディアカル	2.15%	65.26%	1.90%	治療	米国の医療機器メーカー。主要製品は、静脈や肺動脈にできた血栓（血液の固まり）をカテーテルで物理的に掻き出す治療法で用いられる機械的血栓摘出装置。2025年1月に米同業のストライカーが同社買収を発表、2月20日に完了。
ガーダント・ヘルス	1.96%	106.50%	1.85%	研究開発	米国のバイオテクノロジー企業。がん患者の身体的負担の少ない低侵襲性液体検体（血漿や尿など）の分析による、がん検査（遺伝子異常の検出）サービスを提供する。
ナテラ	3.97%	54.61%	1.78%	研究開発	米国の遺伝子診断会社。血液中のDNAを調べる無細胞DNA検査を通じ、家族計画や出生前検査、遺伝性がんスクリーニングなど、女性の健康ニーズをサポートする遺伝子検査を提供するほか、がん治療を受けた患者の再発監視を目的とする循環腫瘍DNA検査、腎臓移植を受けた患者の活動性拒絶反応を評価するための腎臓検査などを提供する。

寄与度下位銘柄

寄与度下位銘柄	平均保有比率	トータル・リターン	トータル・リターン寄与度	サブテーマ	企業概要
テン・エックス・ゲノミクス	3.00%	-76.74%	-4.13%	研究開発	米カリフォルニア州に拠点を置くライフサイエンス・テクノロジー企業。免疫や腫瘍、神経などのゲノム分析用機器の開発を手掛ける。シングルセル解析に強みを持つ。
エボレント・ヘルス	1.85%	-69.50%	-2.12%	効率化	保険会社や医療機関のケアモデルを、従来型の患者に提供する医療サービスの数量（による支払い）から、医療品質や費用対効果を重視したバリューベースに移行するためのソフトウェアを提供する米国のヘルステック企業。2011年設立。
デクスコム	3.03%	-50.76%	-2.00%	治療	米国の医療機器メーカー。糖尿病患者向けの持続血糖値測定器（CGM：皮下にセンサーを挿入し、間質液中のグルコース濃度を連続的に記録する装置）に特化し、データ管理用スマホアプリも提供する。
アローヘッド・ファーマシューティカルズ	2.48%	-55.45%	-1.83%	治療	米カリフォルニア州に拠点を置くバイオ医薬品企業。病気の原因となる遺伝子をサイレント化（遺伝子発現を抑制し、その機能を不活化させること）し、難治性疾患を治療する薬剤の開発を手掛ける。
アイオバンス・バイオセラピューティクス	1.28%	-77.53%	-1.59%	治療	米カリフォルニア州に拠点を置くバイオ医薬品企業。がん免疫療法薬の開発を手掛ける。

期間：2024年3月31日～2025年3月31日（日次）

出所：UBSからの情報およびデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載の企業は参考のために例示したものであり、当ファンドへの組入れを示唆・保証するものではありません。また個別銘柄を推奨するものではありません。

将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

上記の当戦略のパフォーマンスは、ファンドが投資する円建の外国投資証券の米ドル建てマスターファンドのグロス・リターン（信託報酬等費用控除前）です。ファンドが投資する円建の外国投資証券の運用実績ではないことにご留意ください。

お申込みメモ

購入時	購入単位	販売会社が定める単位 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の 基準価額
換金時	換金単位	販売会社が定める単位
	換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の 基準価額
	換金代金	原則として換金申込受付日から起算 して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間		原則として午後3時30分までに販売会 社が受付けたものを当日の申込分とし ます。 ただし、販売会社により異なる場合があ ります。
信託期間		2026年4月13日まで (2021年4月16日設定)
決算日		4月11日 (休業日の場合は翌営業日)
収益分配		年1回、毎決算時に収益分配方針に 基づいて収益の分配を行います。販売 会社との契約によっては税引き後無手 数料で再投資が可能です。 ただし、必ず分配を行うものではありません。
課税関係		課税上は株式投資信託として取扱わ れます。 公募株式投資信託は、税法上、一定 の要件を満たした場合に少額投資非 課税制度（NISA）の適用対象となり ます。ファンドについては、NISAの適用 対象ではありません。詳しくは、販売会 社にお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。
申込不可日		下記のいずれかに該当する日には、 購入・換金の申込はできません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行の休業日 ・ルクセンブルクの銀行の休業日

ファンドの費用

◆ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 3.3%（税抜3.0%） を上限として販売会社が個別に定め る率を乗じて得た額とします。 詳しくは販売会社にお問い合わせくだ さい。
信託財産留保額	ありません。

◆ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理 費用 (信託 報酬)	ファンド	毎日、ファンドの純資産 総額に 年1.188% (税抜1.08%)の率を 乗じて得た額とします。
	投資対象とする 外国投資信託	外国投資信託の純資産 総額に対し、 上限年率1.0%
	実質的な負担	年2.188% (税抜2.08%)程度 ファンドが投資対象とする 外国投資信託の信託報 酬を加味して、受益者が 実質的に負担する信託 報酬率について算出した ものです。
その他の 費用・ 手数料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託財産にかかる監査費用および当該監 査費用にかかる消費税等に相当する金額 は、受益者の負担とし、信託財産中から 支弁します。 ・ 証券取引に伴う手数料、組入資産の保管に 要する費用等は、信託財産中から支弁し ます。 ・ 組入外国投資信託においても、管理会社費 用、管理事務代行費用、登録および名義 書換事務代行費用、取引費用、弁護士費 用、監査費用等がかかります。 これらの費用・手数料については、運用状況等 により変動するものであり、事前に料率・上限額 等を示すことができません。 	

上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間
等に応じて異なりますので、表示することができません。

販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
今村証券株式会社	金融商品 取引業者	北陸財務局長 (金商) 第3号	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○		○	○
大熊本証券株式会社	金融商品 取引業者	九州財務局長 (金商) 第1号	○			
八十二証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商) 第21号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○

※加入協会に○印を記載しています。

※八十二証券株式会社は、新規買付のお申込は受付けておりません。

ファンドの関係法人

委託会社：T&Dアセットマネジメント株式会社

信託財産の運用指図等を行います。

受託会社：三井住友信託銀行株式会社

信託財産の保管・管理業務等を行います。

照会先

T&Dアセットマネジメント株式会社

電話番号：03-6722-4810

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

インターネットホームページ：<https://www.tdasset.co.jp/>

【当資料で使用するデータについて】

■MSCIワールド・インデックス

MSCIワールド・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

投資リスク

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

- ・株価変動リスク
- ・為替変動リスク
- ・カントリーリスク
- ・流動性リスク

※基準価額の変動要因（リスク）は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 分配金に関する留意点
 - ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
 - ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
 - ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- 大量の解約・換金申込を受け付け短期間で解約資金を準備する必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、投資する有価証券の価格が下落し、基準価額が変動する要因となります。また、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

ご留意いただきたい事項

- 当資料はT&Dアセットマネジメントが作成した情報提供資料です。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断いただきますようお願い致します。投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社にてご入手いただけます。

■ 設定・運用は



T&Dアセットマネジメント

商号等：T & Dアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第357号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会